



Support

<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

NO. 6

平成28年8月8日

編集・発行

学校支援課 広報担当

どきどき！わくわく！楽しい！ 「分かりやすい理科授業」を目指して

～理科の観察・実験研究協議会～

小中の理科教育の接続を円滑にするため、また、理科の観察・実験の指導力向上を図るための研修を行っています。今年度は、北区、江南区、西区、西蒲区から、小中それぞれ1名ずつ計8名が授業を公開し、協議会を行います。7月までに、小学校4校で公開授業と協議会を行いました。9月からは、いよいよ中学校での公開授業が始まります。小学校の授業や協議会の様子と、公開授業者による筑波大学附属小学校授業視察の様子をお伝えします。



葛塚東小学校 3年「かげと太陽」協議



「観察結果を時間ごとに並べて示すともっと分かりやすかったのでは？」授業を振り返り、協議を深めました。

亀田小学校 4年「空気と水」授業



「あれ？どうなるのかな？」子どもたちにこれまでの体験とのズレを感じさせて、問題意識を高めます。

山田小学校 5年「種子の発芽と成長」授業



自分の考えを付箋に書いてはり、全員でお互いの考えを比べて、違いを見付けて話し合っています。

岩室小学校 6年「ものの燃え方」授業



「小学校でもこの実験は行われているのか！もっと小学校の教科書を見てみないといけない。」（中学校の理科教員の感想）

県外授業視察 in 筑波大学附属小学校（7/5,6）

前ページの公開授業者が筑波大学附属小学校へ県外授業視察に行ってきました。先進的な理科授業を参観したり、附属小の教官からの講義を受けたりと、大変充実した研修を行うことができました。



視察メンバーの振り返りより

まさに日本の教育の最先端を見せていただいた気がした。外国からの見学者も多く、森田副校長の二酸化炭素の色が変化していく過程の実験を見た韓国からの見学者は、「このような実験を生徒に見せているので日本はノーベル賞を獲れるのだ。」と述べたとのこと。教師の姿勢、教えることの技術や知識、心構え、生徒の学習態度、学校の歴史や校風などすべてが桁外れの体験であった。すごく力を頂いた体験であった。心から感謝します。（南浜中 南教諭）



「いかに児童に興味をもたせ、自分の課題にさせるか」「理科を考えていく上で必要な力をいかにつけさせるか」の工夫がたくさんつまっていた授業や講話を聞かせていただくことができた。



導入では、今までの研修で話題に出ていた「ズレから問いを生む」ということに付け加え、目の前に事象や実物を用意することで、そこから対話が生まれ、問いが生まれるという話はすぐにでも取り入れていきたいと思う。

（岩室小 外山教諭）

新潟水俣病の教訓を生かし、身近な環境問題を学ぶ ～地域の特色を活かした環境学習支援事業～

新潟市では、平成20年度より毎年、新潟水俣病の教訓を生かした環境問題を学ぶ、「地域の特色を活かした環境学習支援事業」を実施しています。今回は、横越小学校の取組をご紹介します。

横越小学校の取組



阿賀野川について、河川事務所の方にお話を聞く子どもたち



自分たちで何ができるかをお互いに発表し合う子どもたち



新潟水俣病の「語り部」の方から真剣にお話を聞く子どもたち



子どもたちが作った阿賀野川の歴史が分かる「かるた」

28年度 モデル校

区	学校名
北	太田小学校
北	岡方中学校
東	江南小学校
中央	山潟小学校
中央	白山小学校
江南	横越小学校
江南	早通小学校
秋葉	小合小学校
南	白根小学校
西	立仏小学校
西	小瀬小学校
西蒲	越前小学校
西蒲	升潟小学校

今年度は、上記の学校がモデル校として取り組んでいます。